

(お問い合わせ先)

(一財)茨城県科学技術振興財団

担当：塩原・大越 TEL029-861-1205

茨城県産業戦略部科学技術振興課

担当：藤田・沖 TEL029-301-2532

2023年11月6日

江崎玲於奈賞（第20回）・つくば賞（第34回）・つくば奨励賞（第33回） 受賞者発表オンライン記者会見を行います【事前申込制】

2023年度の江崎玲於奈賞（副賞 1,000万円）、つくば賞（副賞 500万円）及びつくば奨励賞（副賞 100万円）について、11月20日（月）に審査会を行い、受賞者を決定・発表いたします。江崎玲於奈賞の審査委員にはノーベル賞受賞者が5人含まれており、当日の受賞者発表には、江崎委員長のほか、ノーベル賞受賞者である白川英樹先生にご参加いただき、オンラインで記者会見を行う予定です。

なお、質疑応答の時間も設けますので、ぜひご参加のうえ取材いただきますよう、下記のとおりご案内申し上げます。

記

1 各賞の概要（詳細は別紙をご参照願います）

- (1) 江崎玲於奈賞：ナノサイエンスあるいはナノテクノロジー、ならびに量子効果が顕わに関わる物性に関する研究に携わり、世界的に顕著な研究業績をあげた研究者を顕彰する。
- (2) つくば賞・つくば奨励賞：茨城県内において科学技術に関する研究に携わり、顕著な研究成果を収めた研究者を顕彰する。

2 記者会見のスケジュール

日時：2023年11月20日（月）15:30～16:30

審査会の進行状況により、開始時間が遅れる場合があります。

(参考) 審査会及び記者会見スケジュール

時間	内容	備考
10:15～11:45	審査会（つくば賞・つくば奨励賞）	取材不可
13:15～14:45	審査会（江崎玲於奈賞）	
15:30～16:30	記者会見（受賞者の発表）	取材可（オンライン）

3 主な記者会見出席者（予定）

				
江崎 玲於奈 江崎玲於奈賞・ つくば賞委員会 委員長 ノーベル物理学賞 (1973年)	白川 英樹 江崎玲於奈賞 委員 ノーベル化学賞 (2000年)	榑 裕之 江崎玲於奈賞 検討委員会 委員長 奈良国立大学 機構 理事長	安藤 恒也 江崎玲於奈賞 検討委員会 副委員長 東京工業大学 名誉教授	関 正樹 江崎玲於奈賞 協賛企業 関彰商事(株) 代表取締役社長

4 記者会見(オンライン)参加方法

記者会見（オンライン）の取材を希望される場合には、（別紙）取材申込用紙に必要事項を記載し、**11月13日（月）17時まで**にお申込みください。後日、申込いただいたメールアドレス宛に、記者会見の会議情報（URL等）をお送りいたします。

記者会見はZoomミーティングにより行います。

※この資料は、県政記者クラブ、都道府県記者クラブ、筑波研究学園都市記者会、文部科学省内の文部科学省記者会、科学記者会に提供しています。

取材申込用紙

申込先 (一財)茨城県科学技術振興財団 塩原・大越

FAX : 029-861-1209

mail:t.shiobara@epochal.or.jp

誠にお手数ではございますが、**記者会見(オンライン)の取材を希望される場合、11月13日(月)17時までに、本申込用紙に必要事項を記入のうえFAX送信いただくか、下記①～⑤を必ずご記載いただき上記メールアドレスまでご連絡ください。**

お申込みいただいたメールアドレス宛てに、後日、記者会見の会議情報(URL等)をお送りしますとともに、当日の記者会見前に受賞者に関する発表資料をお送りいたします。

【2023年度 江崎玲於奈賞・つくば賞・つくば奨励賞受賞者発表記者会見】日時 2023年11月20日(月)15:30～(オンライン)

① 御社名	
② 取材代表者氏名 及び電話連絡先	
③ 上記以外の 参加者氏名	
④ メールアドレス ※代表者のみでも可	@
⑤ 携帯電話番号	

<注意事項>

- ・後日お送りします会議情報(URL等)については、社内限りとしていただき、取扱いには、十分ご留意ください。
- ・参加者多数の場合、一社あたりの参加者数を制限させていただく場合がございます。予めご了承ください。

お問い合わせ先 / (一財)茨城県科学技術振興財団 塩原・大越 TEL029-861-1205

江崎玲於奈賞概要

1 賞の趣旨

ナノサイエンスあるいはナノテクノロジー、ならびに量子効果が顕わに関わる物性に関する研究に携わり、顕著な研究業績を挙げた研究者を顕彰することにより、科学技術の振興、ひいては産業の活性化に寄与する。

2 創 設 2004年度

3 賞の内容 本賞（賞状）、副賞（1,000万円【協賛：関彰商事株式会社】）、記念品（賞牌）

4 対象者 日本国内の研究機関においてナノサイエンスあるいはナノテクノロジー、ならびに量子効果が顕わに関わる物性に関する研究に携わり、世界的に評価を受ける顕著な研究業績を挙げた研究者、原則1名

5 主催等

- ① 主催 （一財）茨城県科学技術振興財団、つくばサイエンス・アカデミー
- ② 共催 茨城県
- ③ 協賛 関彰商事株式会社
- ④ 後援 文部科学省、日本放送協会

6 選考の方法

- ① 以下に対し推薦を依頼
 - ・ ナノサイエンス及びナノテクノロジー、ならびに量子効果が顕わに関わる物性関連の国内主要学会等の長（37学会、1学会等あたり2件まで）
 - ・ ナノサイエンス・ナノテクノロジー、ならびに量子効果が顕わに関わる物性分野の研究を実施する国内主要研究機関及び国内大学等の長（111機関、1機関等あたり3件まで）
 - ・ つくばサイエンス・アカデミー運営会議委員（33名、一人1件まで。江崎玲於奈賞委員会委員を除く。）

② 江崎玲於奈賞委員会において受賞者を決定

（江崎玲於奈賞委員会のもとに江崎玲於奈賞検討委員会を設置し、事前審査を行う）

【委員会委員】 ☆が委員長

☆江崎玲於奈	一般財団法人茨城県科学技術振興財団 理事長（つくば市在住）
白川 英樹	筑波大学 名誉教授
野依 良治	科学技術振興機構 研究開発戦略センター長
小林 誠	高エネルギー加速器研究機構 特別栄誉教授（つくば市在住）
天野 浩	名古屋大学 未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター センター長・教授
毛利 衛	日本科学未来館 名誉館長（つくば市在住）
岡田 雅年	物質・材料研究機構 名誉顧問
丸山 清明	つくばサイエンス・アカデミー 副会長

7 2023年度江崎玲於奈賞（第20回）の審査経過について

- ① 推薦期間 2022年12月26日～2023年 3月14日
- ② 書面審査 2023年 4月18日～2023年 5月31日
- ③ 検討委員会 2023年 7月27日（オンライン）
- ④ 江崎玲於奈賞委員会並びに受賞者決定
2023年11月20日（オンライン）

※ ④についてはつくば賞・つくば奨励賞と合同で開催

つくば賞・つくば奨励賞概要

1 賞の趣旨

茨城県内において科学技術に関する研究に携わり、顕著な研究成果を収めた研究者を顕彰し、研究者の創造的な研究活動を奨励する。

2 創設 (つくば賞) 1989年度 (つくば奨励賞) 1990年度

3 賞の内容 (つくば賞) 本賞(賞状)、副賞(500万円)、記念品 (つくば奨励賞) 本賞(賞状)、副賞(各100万円)、記念品

4 対象者

(つくば賞)

- ・ 対象範囲 自然科学分野で1人または1組
- ・ 資格 基礎・応用・開発を問わず理工学及び生命科学などの研究分野に携わっている個人又はグループで次のいずれかに該当する者(共同研究の場合はその研究に対する貢献度合が1/3以上である者を表彰の対象とする。)
- ・ 選考基準 次のいずれかに該当し、世界的に評価を受ける研究成果を収めた研究者
(i) 茨城県内において現在研究活動をしているか、過去に研究活動をしたことがあること
(ii) 茨城県内で開催された国際学会で、初めてその研究成果を発表した研究者

(つくば奨励賞〈実用化研究部門・若手研究者部門〉)

- ・ 対象範囲 自然科学分野で各部門1名または1組
- ・ 資格 基礎・応用・開発を問わず理工学及び生命科学などの研究分野に携わっている個人又はグループで次のいずれかに該当し、科学技術の振興に貢献が期待できる者
- ・ 選考基準

〈実用化研究部門〉

茨城県内において現在研究活動をしているか、又は研究活動をしたことがある研究者であって、その研究成果が実用化される等、県内の科学技術振興に寄与した研究者(共同研究の場合はその研究に対する貢献度合が1/3以上である者を表彰の対象とする。)

〈若手研究者部門〉

茨城県内で現在研究活動をしている若手研究者(40歳以下)であって、今後飛躍的な研究成果が期待できる研究者(共同研究の場合はその研究の主たる研究者であり、その貢献度合が2分の1以上である者を表彰の対象とする。)

5 主催等

① 主催 (一財)茨城県科学技術振興財団、つくばサイエンス・アカデミー

② 共催 茨城県、つくば市

6 選考の方法

① 茨城県内の大学、国立・独立行政法人・民間等の研究所104機関へ推薦依頼。

② つくば賞委員会において受賞者を決定

(つくば賞委員会のもとにつくば賞予備審査会を設置し、事前審査を行う)

【委員会委員】 ☆が委員長

☆江崎玲於奈	一般財団法人茨城県科学技術振興財団 理事長
飯島 澄男	名城大学 終身教授
石井 威望	東京大学 名誉教授
中村 道治	科学技術振興機構 名誉理事長
永田 恭介	筑波大学 学長
宮田 武雄	茨城大学 名誉教授

7 2023年度つくば賞(第34回)・つくば奨励賞(第33回)の審査経過について

① 推薦期間 2022年12月26日～2023年 3月14日

② 書面審査 2023年 4月18日～2023年 5月31日

③ 予備審査会 2023年 8月 9日(つくば国際会議場)

④ つくば賞委員会並びに受賞者決定 2023年11月20日(オンライン)

※ ④については江崎玲於奈賞と合同で開催

江崎玲於奈賞歴代受賞者一覧

※所属は受賞当時

江崎玲於奈賞	
第1回	『半導体ナノエレクトロニクス素子の先駆的研究, 特に, 量子細線・量子ドット構造素子研究における先駆的貢献』 東京大学 生産技術研究所 教授 榊 裕之 氏 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 荒川 泰彦 氏
第2回	『ナノバイオインターフェイス設計による細胞シート工学の創生』 東京女子医科大学先端生命医科学研究所 所長・教授 岡野 光夫 氏
第3回	『量子ナノ構造の電子物性理論の先駆的研究』 東京工業大学理工学研究科物性物理学専攻 教授 安藤 恒也 氏
第4回	『人工原子・分子の実現と量子コンピューターへの挑戦』 東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻 教授 樽茶 清悟 氏
第5回	『表面およびナノ構造物質の顕微観察法の開発と新規物性の開拓』 東京工業大学大学院理工学研究科物性物理学専攻 教授 高柳 邦夫 氏
第6回	『ナノスケールで制御されたフォトニック結晶の先導的研究』 京都大学大学院工学研究科電子工学専攻 教授 (兼任) 京都大学光・電子理工学教育研究センター センター長 野田 進 氏
第7回	『自己組織化によるナノ構造物質創成の先駆的研究』 東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻 教授 藤田 誠 氏
第8回	『近接場ナノ光学とプラズモニクス研究の開拓』 大阪大学大学院工学研究科応用物理学専攻 教授 理化学研究所基幹研究所 主任研究員 河田 聡 氏
第9回	『高分子ナノ構造を用いた薬物・遺伝子キャリアの開拓と難治疾患標的治療への展開』 東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻 教授 東京大学大学院医学系研究科附属疾患生命工学センター 教授 片岡 一則 氏
第10回	『革新的な多孔性金属錯体の開発』 京都大学 物質-細胞統合システム拠点 拠点長 京都大学 大学院 工学研究科 合成・生物化学専攻 教授 北川 進 氏
第11回	『超伝導量子ビットシステムの研究』 理化学研究所 創発物性科学研究センター量子情報エレクトロニクス部門巨視的量子コヒーレンス研究チームチームリーダー 蔡 兆申 氏 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 理化学研究所 創発物性科学研究センター量子情報エレクトロニクス研究部門超伝導量子エレクトロニクス研究チームチームリーダー(兼務) 中村 泰信 氏
第12回	『有機分子材料のメソスケール構造制御と新機能発現』 東京大学 大学院工学系研究科化学生命工学専攻 教授 相田 卓三 氏
第13回	『強磁性物質におけるスピンの電氣的制御と素子応用に関する先導的研究』 東北大学 電気通信研究所 所長・教授 大野 英男 氏
第14回	『光格子時計の考案, 実証および高精度化』 東京大学 大学院工学系研究科物理工学専攻 教授 理化学研究所 香取量子計測研究室 主任研究員 香取 秀俊 氏
第15回	『テラヘルツ技術の開拓によるナノ構造の電子物性解明の先導的研究』 東京大学 生産技術研究所 光物質ナノ科学研究センター 教授 平川 一彦 氏
第16回	『伸縮性と生体親和性をもつ新しい有機半導体エレクトロニクスの開拓』 東京大学 大学院工学系研究科 教授 理化学研究所 開拓研究本部 主任研究員 理化学研究所 創発物性科学研究センター チームリーダー 染谷 隆夫 氏
第17回	『半導体ナノ構造における核スピンの電子的制御と量子情報技術への応用の研究』 東北大学 大学院理学研究科 教授 東北大学先端スピントロニクス研究開発センター センター長 量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所 研究統括 平山 祥郎 氏
第18回	『カーボンナノチューブの電子状態と共鳴ラマン分光の理論』 東北大学 大学院理学研究科 物理学専攻 教授 齋藤 理一郎 氏
第19回	『植物由来の完全分散化セルロースナノファイバーの創製と応用に関する研究』 東京大学 本部特別教授室 特別教授 磯貝 明 氏